

簡単、高速、お手頃価格！



ニッポン・ジーン

2色のDye入りプレミックスタイプ PCR 試薬

# Gene RED PCR Mix Plus

Gene RED PCR Mix Plus は、2×プレミックスタイプのPCR 用試薬です。鑄型DNAとプライマーを加えるだけでPCRができ、予め2色の色素と比重調整剤が含まれているため、PCR後の反応液はそのままアガロースゲル電気泳動に持ち込むことができます。



## 特長

### ① 簡単操作の2×プレミックスタイプ

PCRに必要な *Taq* DNA polymerase、dNTPs、MgCl<sub>2</sub> などを含むため、鑄型DNAとプライマーを加えるだけでPCRができます。

### ② 高速反応が可能 (伸長時間 10 秒 / kb)

高速PCRにも対応できるようにバッファー組成を最適化しています。

### ③ 2色のDye入りで、そのままアプライ可能

2色の色素(赤色、黄色)と比重調整剤が含まれているため、PCR後の反応液はそのままアガロースゲル電気泳動に持ち込むことができます。また、添加されている色素はPCR反応を阻害しません。

### ④ 様々なサンプルに対応

簡易抽出法で得られた粗抽出DNAサンプルや、比較的GCリッチな配列、長鎖(10 kbp)も増幅することができ、得られたPCR産物はTAクローニングに使用可能と、幅広い実験に対応しています。

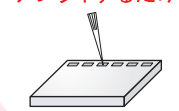
これだけ添加して



反応後は



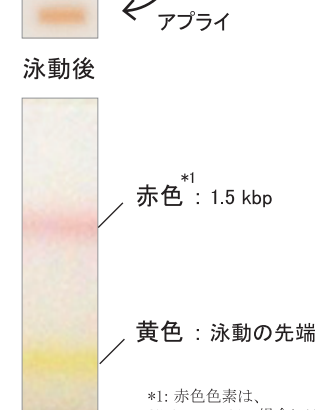
アプライするだけ



## 泳動例

泳動前

泳動後



1% Agarose S

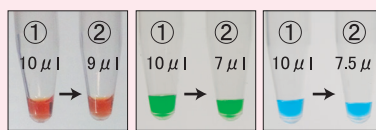
\*1: 赤色色素は、3% Agarose 21の場合には160 bp付近を泳動します。



### スモールスケール(10 μl)のコロニーPCRにも対応

コロニーPCRの実験の際、爪楊枝を使用すると、反応液が吸収されて液量が減少することがあります。本品は、比重調整剤にグリセロールを使用しないため、爪楊枝に吸収されにくい組成となっています。

爪楊枝による液量の減少を比較



①爪楊枝を入れる前  
②爪楊枝を入れた後

## キット内容

製品名	Code No.	包装単位*2	希望納入価格(税別)
Gene RED PCR Mix Plus	315-07761	48 回分 1.2 mL × 1 本	5,600円
	311-07763	96 回分 1.2 mL × 2 本	8,600円
	319-07764	960 回分 (1.2 mL × 2 本) × 10 個	67,000円

保存温度 : - 20℃

構成 品 : Gene RED PCR Mix Plus (2 ×) … 1.2 mL (48回分、96回分、960回分それぞれ1本、2本、20本)

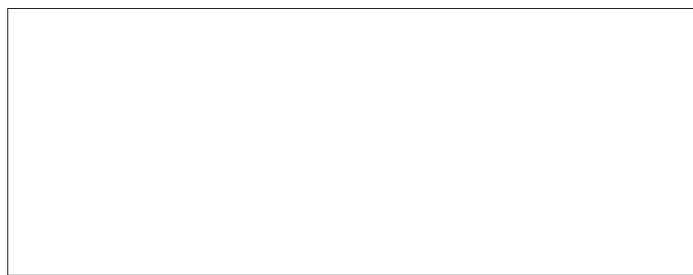
\*2: 50 μl 反応系の場合

製造元 **株式会社ニッポンジーン**

〒930-0834 富山市問屋町二丁目7番18号  
TEL: 076-451-6548 FAX: 076-451-6547  
URL: <https://www.nippongene.com>

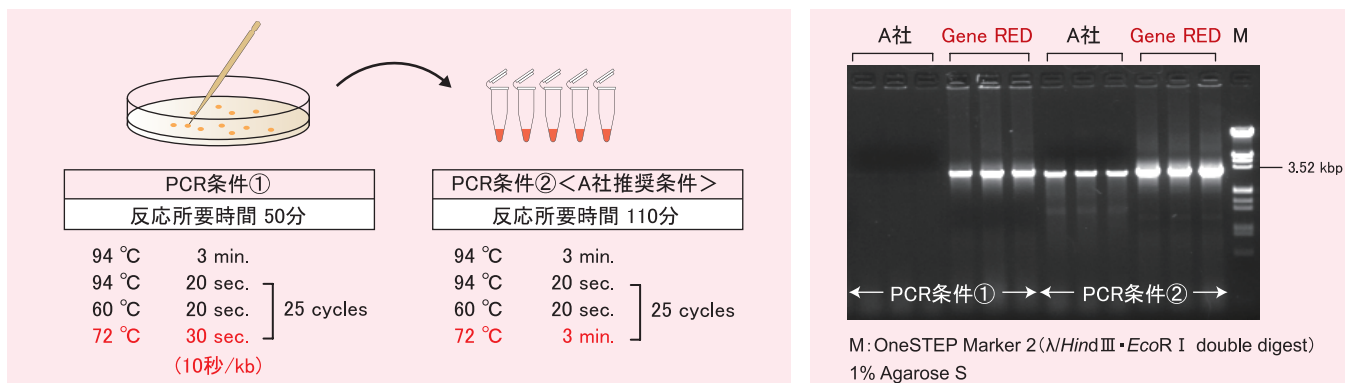
販売元 **富士フイルム 和光純薬株式会社**

本 社 〒540-8605 大阪市中央区道修町三丁目1番2号 TEL : 06-6203-3741 (代表)  
東京本店 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町二丁目4番1号 TEL : 03-3270-8571 (代表)  
フリーダイヤル 0120-052-099 フリーファックス 0120-052-806



## 使用例1: コロニーPCRによるインサート(3.0 kbp)の確認 < 高速PCR(10秒/kb)が可能 >

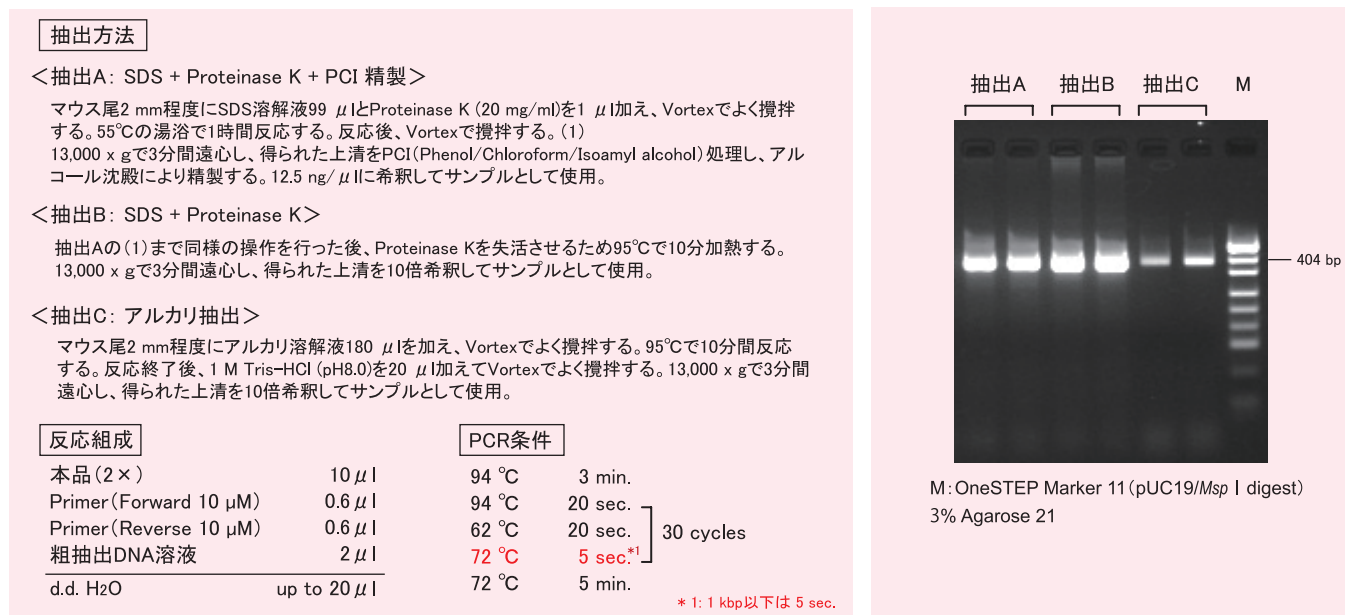
インサート長 3.0 kbp のプラスミドを保持する大腸菌コロニーを爪楊枝でかきとり、Gene RED PCR Mix Plus と A 社製品の反応液に懸濁し PCR (増幅産物: 3.1 kbp)を行った。



PCR 条件②では Gene RED PCR Mix Plus と A 社製品の標的配列の増幅が認められたが、PCR 条件①では Gene RED PCR Mix Plus のみで増幅が認められた。コロニー PCR において、Gene RED PCR Mix Plus は A 社製品より増幅効率が高いため、反応時間の短縮が可能である。

## 使用例2: マウステール抽出DNAのPCR増幅 < 粗抽出DNAのPCRにも対応 >

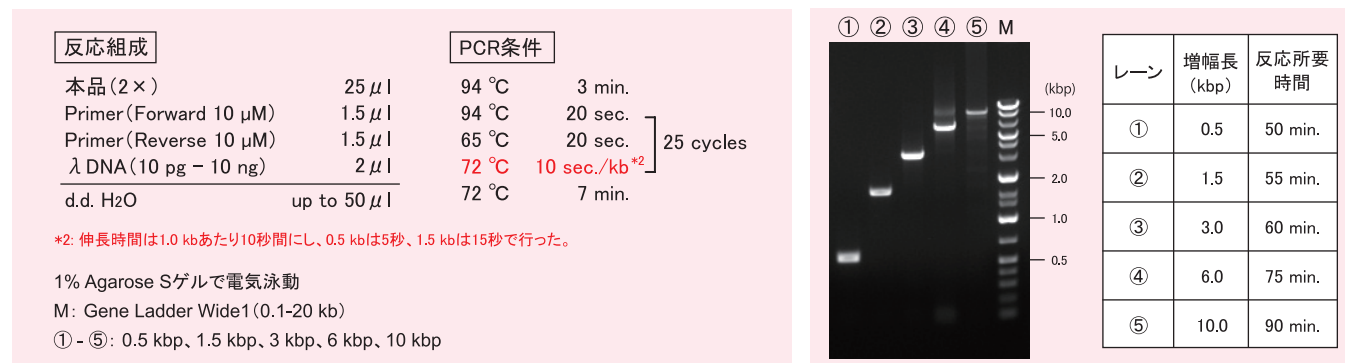
マウステール 2 mm (約20 mg) から下記 3 種類の抽出方法で得られたゲノム DNA を鋳型とし、Gene RED PCR Mix Plus を用いて PCR (増幅産物: 400 bp)を行った。



SDSやアルカリを含む粗抽出DNA溶液を鋳型に使用した場合でも、Gene RED PCR Mix Plusによる標的配列の増幅が認められた。

## 使用例3: 0.5~10 kbp断片の増幅 < 長鎖(10 kbp)の増幅も可能 >

λ DNAを鋳型に0.5 kbp、1.5 kbp、3 kbp、6 kbp、10 kbp 断片をPCR増幅し、反応終了液をそのままアガロースゲルにアプライし電気泳動した。



0.5 - 10 kbpまでの断片を短時間に増幅することができた。